



# 平成23年 3月 三種町議会定例会

平成23年3月三種町議会定例会が3月8日から18日までの会期で開催されました。平成23年度三種町一般会計予算（案）など議案等49件を審議し、原案どおり可決されました。開会初日に三浦町長が行政報告を行いましたので、その主な要旨と審議された主な議案についてお伝えします。

はじめに、このたびの教育委員会職員の不幸事につきましては、町民の皆さまをはじめ、関係団体の皆さまに対し、この場をお借りしまして深くお詫び申し上げます。

このような事件は地方公務員として決してあってはならないことであり、今後は、事務執行体制の見直しを行いながら公金の取り扱い事務を徹底させるほか、職員の意識改革を進め、事件の再発防止に努めます。

## 行政報告

### ふるさと元気づくり基金の寄附状況

今年度のふるさと元気づくり基金事業への寄附は、先般ふるさと体験モニターツアーで本町を訪れた参加者のうち、2名の方から合わせて70,000円の寄附をいただいています。

なお、今回の寄附を含め、現在のふるさと元気づくり基金の合計額は、1,816,041円となっています。

### 過疎地域自立促進計画の変更について

三種町過疎地域自立促進計画は、平成22年9月に議会の議決を経て策定しましたが、計画変更が生じたため、過疎法の規定に基づき変更を行うものです。

変更内容は本文修正1箇所、追加18箇所、変更1箇所、削除2箇所であり、県との協議を終え今議会で議案を上程しています。

### 三種町地域情報化計画について

本計画は、近年、情報通信技術が社会生活に必要不可欠なものとなっていることから、インターネット等の普及により当町の情報化を促進し、ICT利活用環境を高め、その上で情報化施策を計画的・効率的かつ積極的に展開することを目的に策定しました。

計画期間は、平成23年度から平成27年度の5カ年間とし、平成24年度までに全町超高速ブロードバンド環境を整備するとともに、地域情報化推進委員会を設置してICT利活用施策の検討をすることとしています。

その上で、平成25年度以降、各行政サービス分野での具体的な施策を展開し、情報格差是正・地域活性化・公共サービス向上の実現を図ることを目標としています。

### 地域雇用創出推進事業について

本事業の2月末の実績は、新規雇用が27名、助成額3,450千円、店舗改修が11件、助成額3,289千円、機械設備が24件、助成額21,820千円、営業車両が6件、助成額498千円、助成額合計では29,057千円となっています。

事業費ベースでは、160,866千円となっています。機械設備など町外発注もありますが、事業所への経済的支援による経営環境の改善や雇用の確保には、成果があったものと考えています。

### みたねグルメ in 森岳温泉について

2月11日、12日の2日間、観光協会主催により、森岳温泉で行われました。このイベントは、三種町の食のPRと観光振興を図る目的で、緊急雇用創出臨時対策基金事業を活用し実施いたしました。

開催期間中は好天にも恵まれ、ビニールハウスの食の特設会場や野外のそり遊びのコーナー、ゴルフ場での歩くスキーに約5,200の方が訪れました。このことは食への関心の高さを表しているものと思っておりますし、観光振興の一つの切り口になるものと考えています。

### 住宅火災について

2月15日夜発生した住宅火災について、原因は現在調査中ですが、残念なことに1の方が亡くなられています。

消防署と消防団では年末年始の警戒として、巡回実施と各家々に予防チラシを配布し、火災予防を呼びかけてきました。大変に残念なことであり、ご冥福をお祈りするものです。引き続き、消防署、消防団と連携して火災予防運動を継続し、併せて住宅用火災警報器設置を呼びかけていきます。